ものづくり企業の医療分野参入セミナーを開催しました

８月27日、ひたちなかテクノセンター研修ホールにて「ものづくり企業の医療分野参入セミナー」を開催しました。当日は36名（参加企業20社23名）のみなさまにご参加いただき、盛況のうちに終了しました。

はじめに、医療機器コンサルタントの安田研一氏から「中小企業が医療機器産業へ参入するための成功戦略～テルモでの経験から見る市場・技術・事業化のポイント～」と題して、医療機器産業の特徴や医工連携の課題について豊富な事例を交えてご講演いただきました。開発段階から設計管理とリスクマネジメントに取り組み、製品とエビデンスを一体的に開発することの重要性、および品質マネジメントシステム（QMS）に開発初期段階から対応することの必要性が強調されました。中小企業の技術や強みを活かしたニッチ市場への参入可能性についての期待が示されました。

続いて、株式会社NTTデータ経営研究所の清水祐一郎氏から「生成AI時代の医療機器業界～トレンドと新規参入のポイント～」についてご講演いただきました。高齢化を背景とした医療機器市場の動向や、AIによる画像診断支援、治療支援アプリなどの活用事例を紹介され、今後はハードウエアとソフトウエアを組み合わせた製品・サービスが重要であることが強調されました。また、生成AIの医療分野における活用可能性と安全性・有効性の確保、個人情報管理、法規制への対応といった課題についても解説され、新規参入に向けた初期検討での生成AIの活用方法が具体的に紹介されました。

今回のセミナーでは、医療現場の課題から市場を捉え、自社の強みを活かせる参入領域を見極め、安全性・品質・事業性を検証しながら事業化することの重要性について、理解を深める機会となりました。

既に医療分野に参入している企業からは、経営戦略や品質管理、AI活用に関する実践的な知見が経営判断に役立つとの評価が寄せられました。新規参入を検討する企業からも、参入の厳しさを理解しつつ、具体的なノウハウを知ることが出来たとの声をいただきました。一方、共通する課題として人材不足や医療現場との接点構築の困難さが指摘され、今後の継続的なサポート体制整備の必要性が浮き彫りになりました。参加企業からは同様のセミナー開催継続を望む声が多く、業界への関心の高さが伺えました。

今後も県内ものづくり企業のみなさまが医療分野で新たな事業機会を見いだせるよう支援するとともに、より一層有益な情報や交流の機会をご提供できるよう、セミナーや交流会などの取組を充実させてまいります。

㈱ひたちなかテクノセンター
県北ものづくり企業力強化事業
https://www.htc.co.jp/support/kenpoku/
kenpoku@htc.co.jp